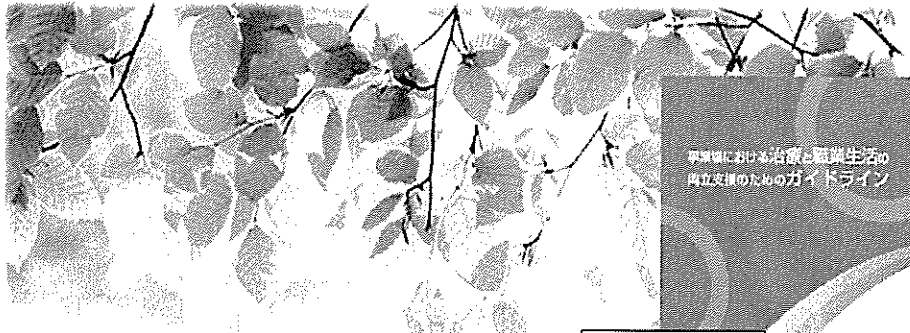


平成30年度治療と仕事の両立支援セミナー

平成30年11月19日

## 「事業場における治療と職業生活の両立支援」



働く人の「こころ」と「からだ」の  
健康をサポート



岩手県  
厚生労働局

岩手産業保健総合支援センター

産業保健専門職 萩野 とも子

## レジュメ

- 1 両立支援の進め方
- 2 治療者の心理状態を理解する
- 3 健康情報は慎重に取り扱う
- 4 職場復帰者の声
- 5 産業保健総合支援センターをご活用ください



## 1 両立支援の進め方

### ① 両立支援が必要な疾病



- ・厚生労働省ガイドラインでは  
がん、脳卒中、肝疾患(肝炎)、難病
  - ・メンタルヘルス分野 うつ、適応障害
  - ・代謝性疾患(糖尿病)、腰痛、外傷(骨折、脊髄損傷)
- 
- ・長期休業から復職を目指すことが多い  
がん、脳卒中、肝炎、難病 など(障害を伴うことも多い)
  - ・通院治療との両立を目的とすることが多い  
がん(外来治療)、糖尿病、メンタル不調 など

3

### ② 支援の対象となる方



- ・発症前に就労していた方
- ・就労を継続する希望がある方  
(本人の意思確認が大切)
- ・支援介入に同意のある方  
(要配慮個人情報 病歴・既往)

4



### ③ 支援対象者の事例



Aさん40代  
家族: 夫、子ども(5歳)



200X年5月 左乳房全摘出術、抗がん剤服用

・1か月入院。入院中は「がん＝死」を思った。「いつそ子どもを連れて

死んでしまおうか。」と考えたことも (うつ傾向)

・順調に回復し、自宅療養2か月間の後、復職を考える。

・主治医「働けます。通院治療・定期検診を受ければ大丈夫」

・夫「できるだけ協力する。」

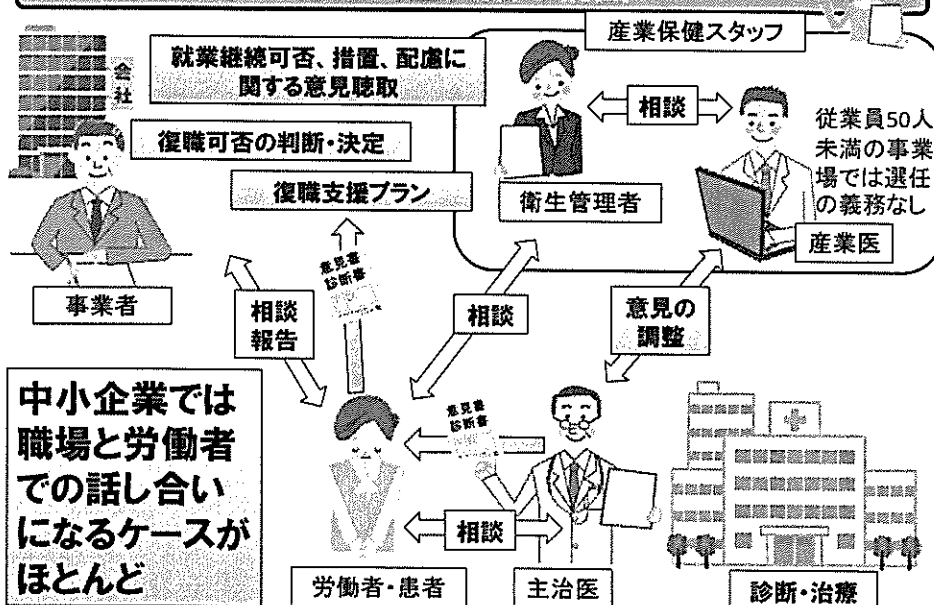
・でも、職場や家族に迷惑をかける、と思うと心苦しい。

・復帰時に、近所や職場の人から同情・憐みの目で見られるかも手術して健康な人とは違う様になってしまったし...

でも、仕事はやめられない、頑張るしかない！

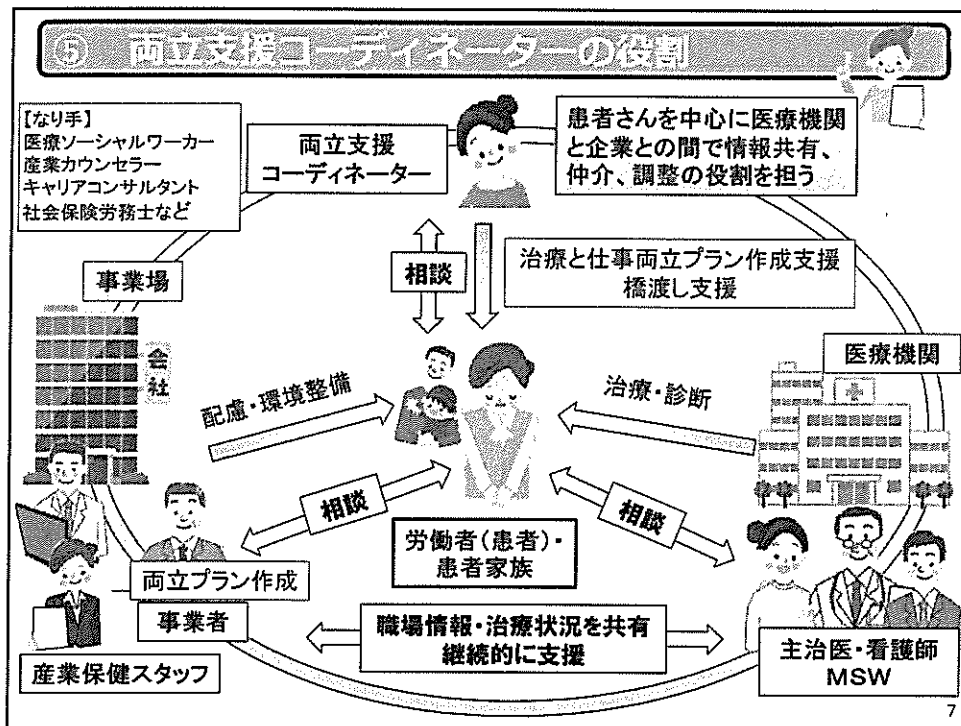
5

### ④ 実際によくある面立支援の構図



6





**⑥ 両立支援コーディネーター研修**

実施主体: 独立行政法人労働者健康安全機構

1 目的

患者・家族が治療と職業生活の両立を図る上で、医療と職域間の連携が必要であるが、十分な連携が機能しておらず、職場においても積極的な支援が、なされていない。

患者・家族と医師・MSWなどの医療側と産業医・衛生管理者・人事労務管理者などの企業側の3者間の情報共有のためのコーディネーターが必要である。

将来的に、治療と職業生活の両立支援体制が確立できるよう、研修事業を実施し、両立支援コーディネーターの養成を図る。

2 募集対象者

医療機関に勤務する医療従事者(医師、看護師、MSW等)

企業等において両立支援に携わる方

3 定員 ※各会場150名 (応募者多数の場合は厳正なる抽選)

4 受講料 無料

5 その他

研修プログラムは全会場で同一

公益財団法人日本医療社会福祉協会「認定医療社会福祉士ポイント」対象

詳細: 独立行政法人労働者健康安全機構ホームページ

『平成30年度両立支援コーディネーター基礎研修』



## 平成30年度コーディネーター基礎研修



平成30年11月13日現在

地域	日程	会場	募集	申込・お問合せ先
名古屋	平成31年1月26日(土) 9:00～17:30	中部労災病院	調整中	愛知産業保健 総合支援センター ☎052-950-5375
神戸	平成31年1月30日(水) 9:00～17:30	兵庫県医師会館	調整中	兵庫産業保健 総合支援センター ☎078-230-0283
横浜	平成31年2月17日(日) 9:30～18:30	神奈川 中小企業 センタービル	調整中	神奈川産業保健 総合支援センター ☎045-410-1160

※今後の研修予定

今年度は労働者健康安全機構が主催しているが、次年度以降、労災病院のある地域ごとに順次開催予定。(研修スタッフ:労災病院、産業保健総合支援センター)

## ⑦「治療と仕事の両立支援」のために事業所が準備すること



- ・基本方針等の表明と労働者への周知
- ・研修による意識啓発、制度や体制の実効性確保
- ・相談窓口、申し出方法の明確化

- ・休暇や勤務制度の整備  
【休暇制度】



年次有給休暇、時間単位の年次有給休暇、傷病・病気休暇

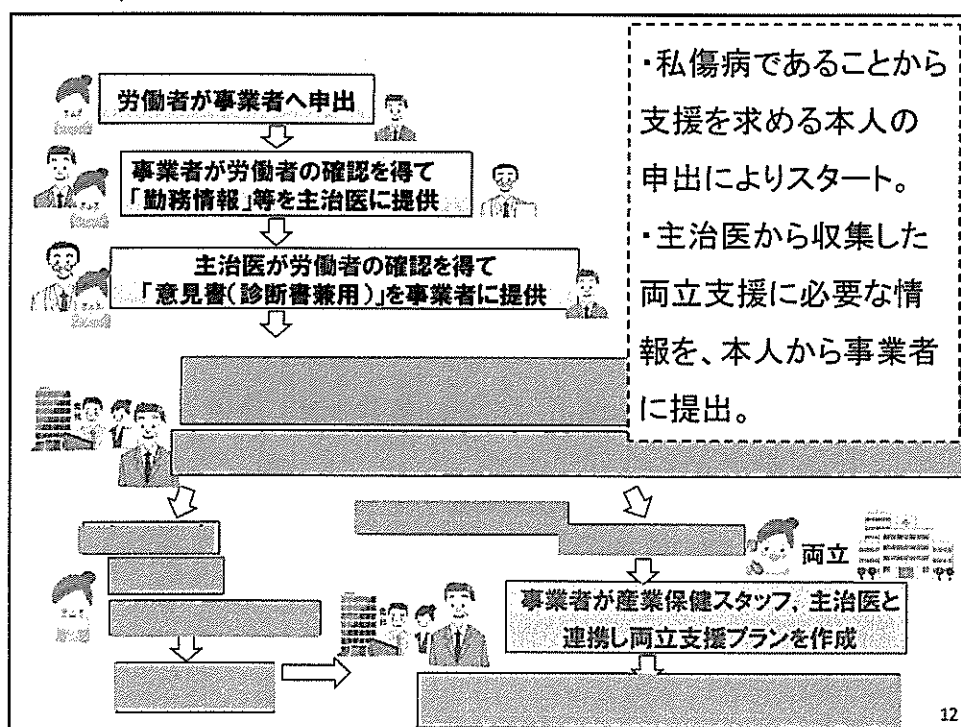
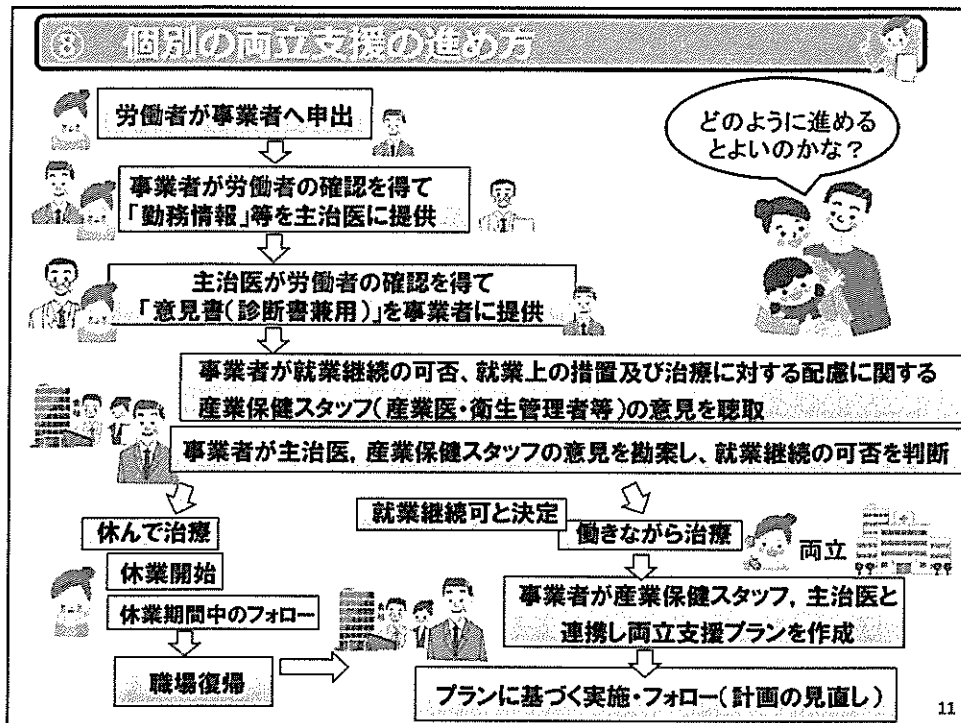
【勤務制度】

短時間勤務制度、時差出勤制度、在宅勤務、試し出勤制度

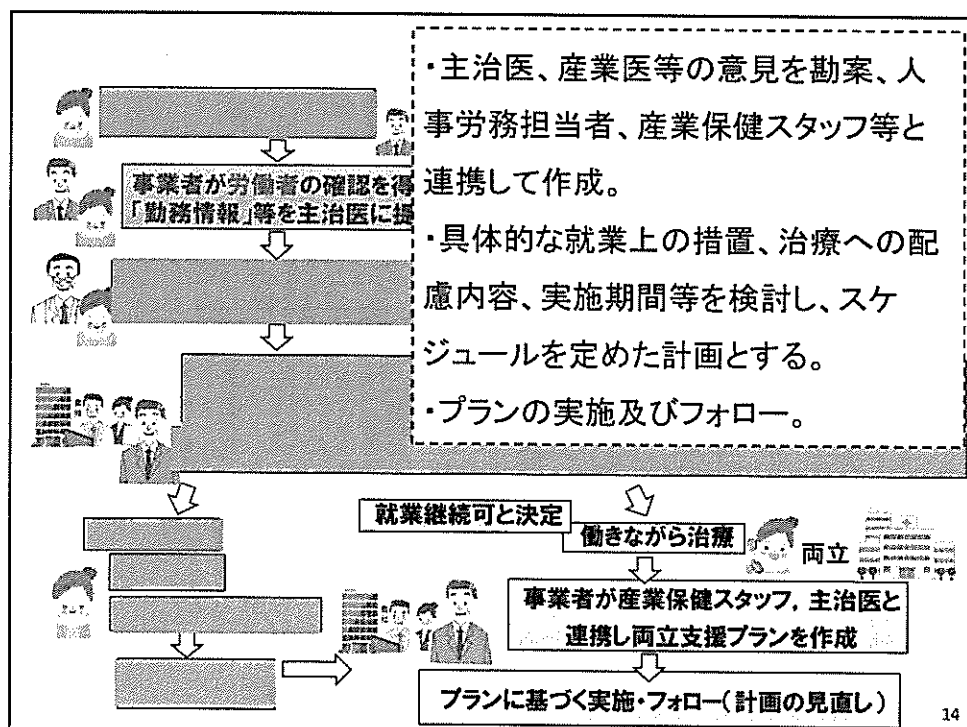
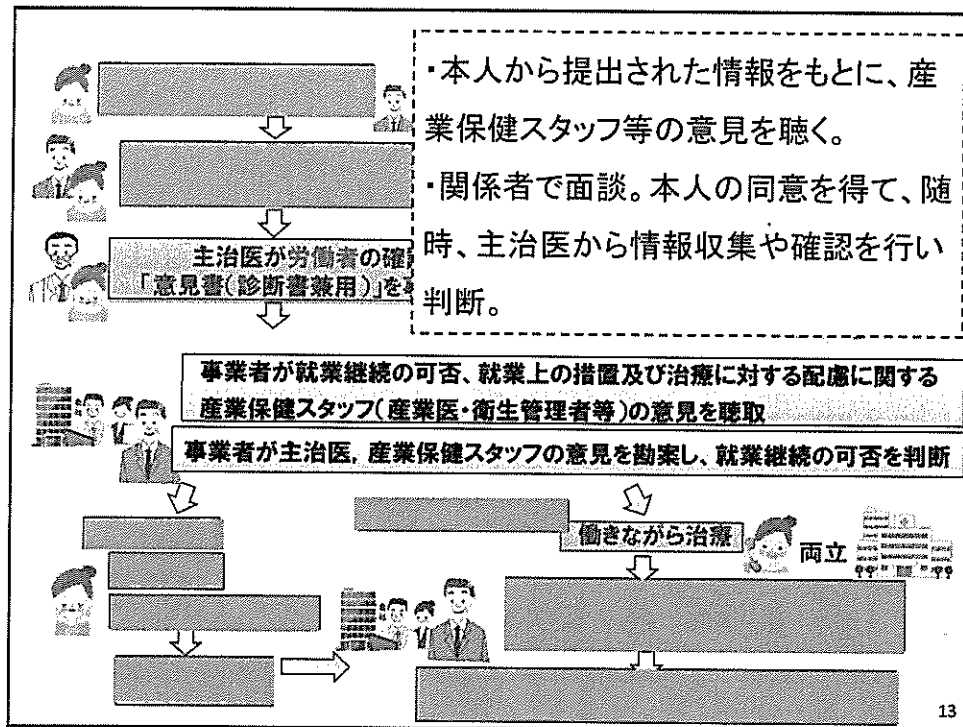
- ・申出があった場合の対応手順、関係者の役割整理
- ・関係者間の円滑な情報共有のための仕組みづくり
- ・労使の協力

10



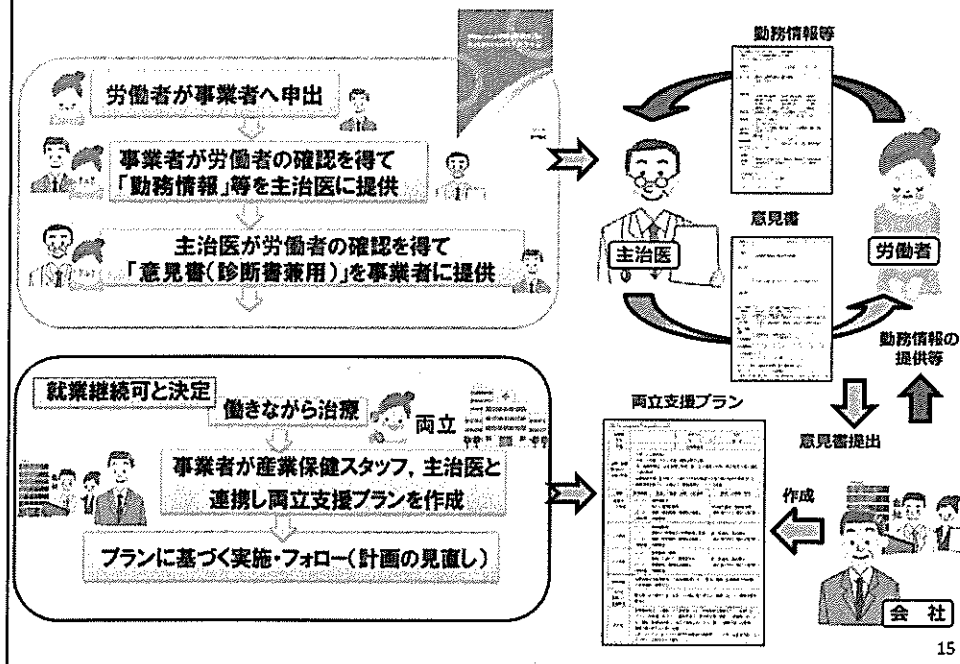








## 両立支援のためのガイドライン(帳票)を活用するとスムーズ



## 2 治療者の心理状態を理解する

### 闘病とストレス

・突然、がんなどの病気と診断され、治療が長期に渡ると  
体調不良 ⇒ 高ストレス

ストレス反応: 不安・抑うつ状態 ⇒ 希望が持てない

治療意欲の低下 ⇒ 仕事どころではない

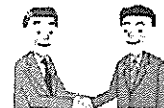


### 相手の状況を思いやる

・病気を打ち明けられたら、お見舞いの言葉をかけ、

心配事を傾聴し、受け止めること

病気を治すことが先決と伝え、治療を受けながら働くことがで  
き、就業上の配慮が受けられる支援があることを伝える。

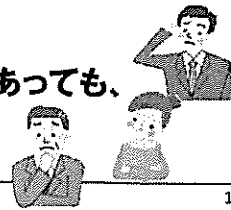


16



### 3 健康情報は慎重に取り扱う

- ・支援を行うためには、病名、症状、治療の状況など、病気にに関する情報が必要。しかしこれらは個人情報。
- ・職場の健康診断結果以外は、事業者も本人の同意なく取得できない。
- ・対応時は本人の同意を得た上で、就業上の措置、治療に関する配慮を実施するため、必要な情報のみが開示されることになる。
- ・本人から詳しい情報を直接聞いている場合であっても、本人に了解なく他の人に話してはいけない。



17

### 4 職場復帰者の声

婦人科系疾患のため、病名を職場には知らせないように配慮してもらいました。手術後に復職した直後は、手術の影響で腕が上がらず、パソコン作業などがきついこともあり、適宜休憩を取りながら仕事をしました。

手術後、放射線治療で通院が複数回あったのですが、時間休(時間単位の有給休暇)をとり、通院できました。

40代女性  
(乳がん)



18

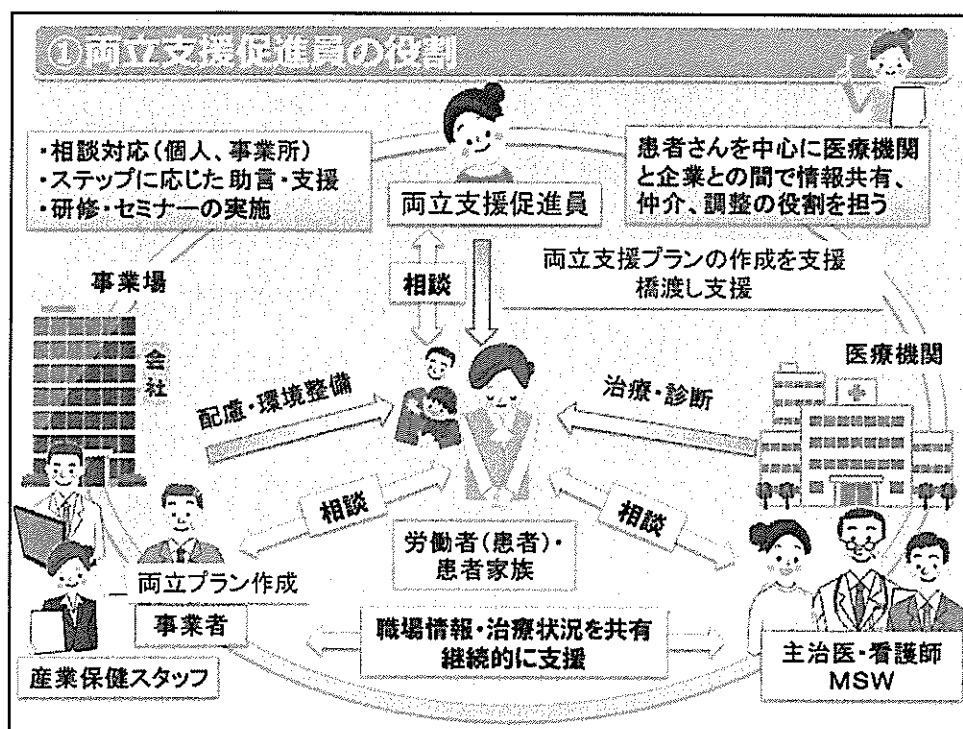


## 5 産業保健総合支援センターをご活用ください

両立支援促進員が治療と職業生活の両立支援を無料でお手伝いします

- ①事業者や人事労務担当者などからの両立支援に関する相談
- ②事業場を訪問し、状況にあった具体的な助言および、  
治療と職業生活両立への理解を促す教育の実施
- ③労働者が治療を受けながら仕事を続けるための、事業場と  
患者(労働者)間の調整支援。両立支援プラン作成の助言
- ④産業保健総合支援センターで、両立支援を普及促進する  
ための事業者等に対する啓発セミナーの実施

19





## ② 個別相談支援の実際



### 個別相談（平成29年度）

個別調整 ・事業主からの相談によるもの

事業者⇒可能な限りの支援体制を取ることを表明

本人⇒就労の継続を希望せず

迷惑がかかる。再発が心配。就労継続の自信がない。

相談のみ

・事業主からの相談によるもの…1事例 労働者職場復帰

⇒個別調整するまでもなく事業者が積極的に患者を支援

・本人からの相談…2事例：支援申し込みには至らず

告知によるショック、メンタル不調など

21

## ③ 職場復帰を妨げるもの



患者（労働者）の意識

がんの告知 ⇨ 死んだら？手術？医療費は？

再発・転移の不安、休職を繰り返す

会社に迷惑をかける…

がんであることを会社に言い出せない

知られればクビになるかも…

事業者の意識

退院しても働ける体力はあるか…

戦力になるか？行ってもらえる作業はあるか

他の労働者からの理解が得られるか…

背景には  
「がん」に対する  
古いイメージ？

職場復帰を果たした事案から

事業者の理解と積極的な対応 ➡

労働者の勤労意欲の維持

古い「がん」のイメージからの脱却  
「がん」を正しく認識  
⇒がん患者も貴重な人材であり  
労働力である



#### ④ 活動を振り返って



##### 事業場の反応

- ・具体的な支援内容は知らない
- ・対象者がいないので、準備の仕様がでない
- ・支援機関があることを知らない
- ・(本人が) 病気であることを言いたがらない
- ・医療機関との連絡調整(コーディネート)が難しい

##### 今後の課題

- ・制度について、周知啓発の工夫  
労働者＝患者、家族、事業場、医療機関
- ・関係者間の共通認識の形成と連携方法  
労働者、家族、事業主、産業保健スタッフ、同僚、医療機関

##### 今後の取組み

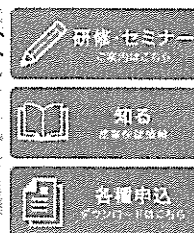
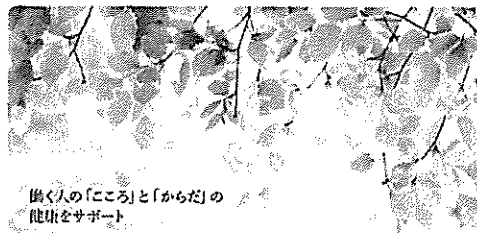
- ・事業場へ周知(有効に機能するための具体的要因を提示)
- ・がん診療連携拠点病院以外の医療機関との連携  
⇒がん診療を行っている医療法人系の病院に出張相談窓口の設置
- ・患者家族会へのアプローチ
- ・個別調整支援に向けた患者家族へのアプローチ



独立行政法人労働者健康安全機構  
岩手産業保健総合支援センター

##### 当センターについて

- ▶ 当センターの案内
- ▶ 産業保健講座
- ▶ 訪問支援
- ▶ 各種申請
- ▶ 図書・資料のご案内
- ▶ センターへのアクセス
- ▶ 資料リクエスト
- ▶ 関係機関リンク集



##### お問い合わせ

- ・産業保健相談
- ・メールマガジン

地域産業保健  
センターについて



治療と仕事の  
両立支援について



ストレスチェック  
制度



メンタルヘルス  
対策支援



ご利用いただける日時	休日を除く毎日 午前8時30分から午後5時15分
休日	毎土・日曜日および祝祭日・年末年始
最寄り駅のお知らせ	JR盛岡駅新幹線北改札口から徒歩2分
住所	盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号マリオス14階
TEL	019-621-5366
FAX	019-621-5367



ご静聴ありがとうございました



25